あきた市議会だより

No.191
令和５年
８月18日

５月臨時会・６月定例会の概要 ……Ｐ２～３
　新しい議長、副議長が決まりました
５月臨時会・６月定例会の議決結果 ……Ｐ３～４
一般質問 ……Ｐ５～８
新しい常任委員等の紹介 ……Ｐ９
６月定例会予算決算委員会各分科会の審査から ……Ｐ９
令和４年度分政務活動費科目別収支状況 ……Ｐ10
９月定例会のお知らせ（予定）ほか ……Ｐ10

秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。
LINEの「友だち追加」から「ID検索（@akitacity_gikai）」
または「QRコード」で登録できます。

被災されました皆さまへ

令和５年７月の大雨により、被害に遭われました皆さまに心からお見舞い申し上げます。災害からの復旧、復興に向けて、一日も早く日常生活に戻ることができますよう全力で取り組んでまいります。

秋田市議会



5月臨時会・6月定例会の概要

5月23日～5月24日　　6月8日～7月3日

新しい議長、副議長が決まりました

議長に菅原琢哉氏
副議長に小松健氏を選出



菅原　琢哉　議長

平成19年から連続５期当選
教育産業委員会委員長等歴任
現在63歳。飯島地区在住

このたび、第56代議長に就任させていただき、関係各位に衷心より感謝申し上げます。また、令和５年７月の豪雨で被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

市民の皆さまの負託と信頼に応えるべく、県都、中核市の議長の責任の重さを十分理解し、公正な議会運営に全力で努めてまいります。

最優先課題である全国一の少子高齢化の改善のため、人づくりを第一に、県市連携による広域化やモデル的まちづくりなどについて、スピード感を持つとともに、「市民生活の向上」を旗印に、各市民サービスセンターを核に、皆さまの相談事やご意見、ご要望に速やかに対応し、政策に反映することができる体制の構築を、市当局へ働き掛けてまいります。

「笑いと健康・統合医療」「日々是好日」ですべての世代が安心して楽しく暮らせる街を目指します。



小松　健　副議長

平成15年から５期当選
総務委員会委員長等歴任
現在77歳。八橋地区在住

このたびの記録的大雨により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧に向け、皆さまと力を合わせ、全力で取り組んでまいります。

さて、少子高齢化など、取り組むべき課題は山積し、市議会の役割と責任はますます重くなる中、重責を拝し、身の引き締まる思いでございます。

二元代表制の一翼を担う議会として、市政の監視機能を果たしつつ、市民の皆さまのお声に真摯に耳を傾けて積極的に政策立案や提言活動に取り組む一方、執行機関とは緊張感をもって議論を深めるなど、本議会が総力を発揮してその役割と責任を果たすことができますよう、全力を尽くす覚悟であります。

また、議会の活性化とともに、開かれた議会、信頼される議会を目指し、議会改革にも意を用いてまいります。

市議会に対し、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

5月臨時会

5月臨時会では、正副議長の選挙、常任委員・議会運営委員の選任等を行ったほか、予算案2件および単行案2件をすべて可決・承認しました。また、人事案1件に同意しました。

予算

住民税非課税世帯電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金給付事業

物価高騰による家計への影響が特に大きい低所得世帯（市県民税非課税世帯）を支援するため、1世帯当たり3万円の給付金を給付します。

支給対象　令和5年6月1日に市内に住所を有し、5年度市県民税が非課税の世帯

12億9千943万7千円

人事

監査委員

安井誠悦氏（新任）



6月定例会

6月定例会では、秋田市介護保険条例の一部を改正する件などの条例案7件、予算案3件および単行案8件をすべて可決しました。また、陳情2件を採択し、人事案19件に同意したほか、議員提案による意見書案2件を可決しました。

予算

秋田市新エネルギービジョン（仮称）策定経費

新エネルギーの利活用による地域産業の活性化を図るため、必要な調査や検討委員会での議論を踏まえながら、新エネルギーの利用促進と関連産業の振興に関する方向性等を示すビジョンを策定します。

・主な調査事項
市域のエネルギー消費量の現状推計と将来推計、先進事例調査、本市企業等の参入可能性に係る調査等

994万6千円



乗合バス事業者運行対策支援事業

物価高騰の影響を受けている乗合バス事業者が行う路線の維持・確保に向けた取り組みを支援するため、運転士確保やバス運行関連システムの導入に要する費用を補助します。

補助率
・運転士確保　市2分の1
・バス運行関連システム導入　市3分の2

6千163万円



未来創造人材育成・映像プロモーション事業

本市の未来を担う人材の育成や地域資源の発掘等につなげるため、企業版ふるさと納税を活用して、市内の大学生等が著名映画監督等と共に短編映画制作とワークショップ等を行うプロジェクトを実施するほか、制作作品を活用して市内外に広くプロモーションします。

4千544万8千円

※9ページに関連記事掲載

条例

秋田市介護保険条例の一部を改正

新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少等に係る保険料の減免の適用範囲を改めるため、条例を改正しました。

施行期日　公布の日から（5年4月1日から適用）

単行案

千秋公園整備事業大手門の堀遊歩道整備工事請負契約を締結する件

工事場所　千秋公園地内
契約金額　3億6千850万円
契約先　秋田舗道株式会社
工期　6年3月22日まで
工事概要　照明設備工、公園橋工、デッキ工、柵工



大手門の堀遊歩道
完成イメージ図

人事

農業委員会委員

相場堅一氏（再任）
伊藤洋文氏（再任）
加賀屋慎一氏（再任）
加藤淳氏（再任）
鎌田悦雄氏（再任）
齊藤善彦氏（再任）
佐々木和昭氏（再任）
佐々木繁明氏（再任）
佐々木英久氏（再任）
佐々木吉秋氏（再任）
佐藤きよ子氏（新任）
柴田ますみ氏（再任）
白岩勝氏（再任）
鈴木昇氏（再任）
関正美氏（再任）
藤田修氏（再任）
星容子氏（再任）
三浦宏和氏（再任）
武藤真作氏（再任）



5月臨時会の議決結果

◆全員一致で可決・承認・同意した議案

全員一致で可決等した議案は件名のみを掲載しています。

		件名
市長提出	単行案	秋田市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件
		秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分について承認を求める件
	予算案	令和5年度秋田市一般会計補正予算（第2号）の件
		令和5年度秋田市学校給食費会計補正予算（第1号）の件
	人事案	秋田市監査委員の選任について同意を求める件※

※関係のある議題のため、市民クラブ安井誠悦議員が除斥となっています。

5月臨時会提出議案　⇒

6月定例会の議決結果

◆全員一致で可決・同意した議案

全員一致で可決・同意した議案は件名のみを掲載しています。

		件名
市長提出	条例案	秋田市市税条例の一部を改正する件
		秋田市国民健康保険税条例の一部を改正する件
		秋田市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する件
		秋田市指定通所支援の事業等の人員、設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する件
		秋田市介護保険条例の一部を改正する件
		秋田市臨時診療所条例を廃止する件
		秋田市火災予防条例の一部を改正する件
	単行案	字の区域を変更する件
		市道路線を認定する件
		都市計画道路泉外旭川線道路築造に伴う附帯工事請負契約の変更契約を締結する件
		秋田市立外旭川中学校屋内運動場大規模改造建築工事請負契約を締結する件
		寺内・将軍野統合出張所（仮称）新築建築工事請負契約を締結する件
		小型動力ポンプ積載車を買い入れる件
		救急自動車を買い入れる件
	予算案	令和５年度秋田市一般会計補正予算（第３号）の件
		令和５年度秋田市中央卸売市場会計補正予算（第１号）の件
		令和５年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第１号）の件
	人事案	秋田市農業委員会委員の任命について同意を求める件（19件）

◆賛成者なしで不採択となった陳情

賛成者なしで不採択となった陳情は件名のみを掲載しています。

件名	
陳情	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金の自粛について（２項）

◆賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

件名		議決結果	秋水会								フロンティア秋田									自民党										公明党				そうせいと維新				共産党		市民ク	議長
			荻原貴幸	細川信二	川口雅丈	見上万里子	佐藤宏悦	伊藤一榮	渡辺正宏	小木田喜美雄	後藤良	船木純	藤田信	藤枝隆博	工藤新一	佐藤哲治	倉田芳浩	小林一夫	飯牟礼克年	工藤潤平	工藤知彦	安井正浩	伊藤巧一	熊谷重隆	小野寺誠	佐藤佳人	牧野守	武田正子	石塚秀博	藤井翼	菊地格夫	若松尚利	小松健	奈良順子	佐藤純子	安井誠悦	花田清美	菅原琢哉
市長提出	千秋公園整備事業大手門の堀遊歩道整備工事請負契約を締結する件	可決	○								○									○									○				欠	○	○	○	×	○		議
議員提出	地方財政の充実・強化に関する意見書提出の件	可決	○								○									○									×				欠	○	○	○	×	○		議
	豊かな学びの実現、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担割合引上げに関する意見書提出の件	可決	×								○									×									○				欠	○	○	○	○	○		議
陳情	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金の自粛について	１項不採択	×								×									○									×				欠	×	×	×	×	×		議
		３項不採択	×								×									×									×				欠	×	○	×	×	×		議
		４項不採択	×								×									○									×				欠	×	×	×	×	×		議
	所得制限を設けない高校卒業までの医療費窓口負担の完全無料化の実施について	不採択	×								○	○	×	○	○	○	○	○		×									×				欠	○	○	○	○	×		議
	豊かな学びの実現、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担割合引上げに関する意見書の提出について	採択	×								○									×									○				欠	○	○	○	○	○		議
	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	採択	○								○									○									×				欠	○	○	○	×	○		議
	物価高騰に見合う生活保護基準の緊急な引上げを求めることに関する意見書の提出について	不採択	×								○									×									×				欠	×	×	×	○	×		議

★賛否は、賛成（○）と反対（×）で掲載しています。
　○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、欠：欠席、議：議長
★略記している会派の名称
　「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団、「市民ク」は市民クラブ

各議員の表決状況はホームページでも公開しています。

６月定例会提出議案　⇒

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。
○地方財政の充実・強化に関する意見書
○豊かな学びの実現、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担割合引上げに関する意見書

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目（PDF）⇒

本会議の録画映像 ⇒

子育て世帯への支援 港湾の振興



秋水会
細川（ほそかわ） 信二（しんじ）

◇未来が見える秋田市を目指して◇明日も子供と一緒に歩みたくなる秋田市を目指して

問 **子育て世帯の支援の一環として、放課後児童クラブを利用している世帯の家計負担軽減を目的とした助成を行ってはどうですか。**

答 放課後児童クラブの保育料は、各クラブのサービス内容に応じ、さまざまに設定されており、保護者はその内容を理解した上で選択しているものととらえています。本市では、同クラブに対する委託料の増額のほか、物価高騰に伴う掛かり増し経費を補助するなど、クラブの運営に対し支援してきたところであり、今後も、利用実態に応じた保育料設定を働き掛けるなど、保護者の負担軽減を図っていきます。



問 **（仮称）秋田港港湾ビジョンを策定し、港湾の振興について、市としてより積極的に取り組んでいくべきではありませんか。**

答 本市では、秋田港を中心とした地域振興について、それぞれの分野に関連する部局が、秋田市総合計画等に基づいて取り組んでいるところです。また、県が策定した「秋田港港湾計画」の方針においても、戦略的物流拠点の形成や観光客の受け入れ環境の強化等が位置付けられています。本市としては、この方針も踏まえながら、引き続き取り組みを進め、秋田港と周辺地域の振興を図っていくこととしており、市独自の港湾ビジョンを策定することは考えていません。



秋田港

校舎のオートロック化 主権者教育



フロンティア秋田
倉田（くらた） 芳浩（よしひろ）

◇教育◇大森山動物園等◇道路除排雪◇職員の処遇◇入札中止◇市街化調整区域に係る開発行為等◇街路樹等の剪定（せんてい）◇ごみの減量

問 **児童生徒の安全を守るため、校舎出入り口のオートロック化を検討すべきではありませんか。**

答 市立小・中学校においては、登下校時や休み時間など、児童生徒が出入りする時間帯を除き、教職員が出入り口を施錠するなど、不審者の侵入防止対策の徹底を図っています。校舎出入り口のオートロック化については、他都市の導入事例などを踏まえ、今後、研究していきます。



問 **市立高等学校等での主権者教育におけるこれまでの取り組み状況はどうですか。また、今後どのように取り組んでいくのですか。**

答 平成28年の選挙権年齢の引き下げ以降、市立高等学校等においては、３年間を見通した系統的な指導計画のもと、公民科の学習等において、民主政治や政治参加のあり方などについて指導するとともに、選挙管理委員会と連携した出前講座や模擬投票を行うなど、主権者としての基本的な知識や心構えを身に付ける実践的な学習に取り組んでいます。今後も、さまざまな機会を通じて、指導の充実を図り、生徒自らが主体的に社会にかかわり、政治に参加しようとする態度の育成に努めていきます。



■請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者（代表者）の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の３日前（市の休日は算入しません）の午後５時までに議長あてに提出してください。

ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課　電話 018（888）5784

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問



外旭川地区のまちづくり 持続可能な公共交通の実現

自民党
安井（やすい） 正浩（まさひろ）

◇第8次秋田市行政改革大綱（第4期・県都『あきた』改革プラン）◇外旭川地区のまちづくり◇デジタル化推進計画◇秋田市立体育館◇管理放棄不動産の「財産権」と近隣住民の「公共の福祉」

問 外旭川地区のまちづくりは市民の理解を得ながら進めるべきではありませんか。また、先を急ぐ理由は何ですか。

答 令和5年3月に策定した外旭川地区まちづくり基本構想で示した事業スケジュールは、地域未来投資促進法の活用を想定して手続きに必要な期間を考慮した上で、官民連携の取り組みであることから、8年度事業着手という目標を示し、今後、民間事業者が参画を判断できるよう設定したものです。引き続き、県などの関係機関等と連携を図りながら、5年度の外旭川地区まちづくり基本計画を策定する過程において、新スタジアムや民間施設の事業主体や取り組みの具体などについて、可能な限り示すとともに、市議会や市民への丁寧な説明に努めていきます。

問 第8次秋田市行政改革大綱で掲げている「公共交通に係る共同経営体の検討」の最終目標は何ですか。また、どのようなことを検討するのですか。

答 同大綱に「公共交通に係る共同経営体の検討」を位置付けた目的は、本市と交通事業者が、路線バス等の経路や運行形態などの経営にかかわる事項について、緊密に協議できる連携体制を構築することで、将来にわたり安定的に運行を継続できる環境を整えることにあります。今後は、バス事業者と共に路線再編の検討を進めながら、持続可能な公共交通の実現に向け、連携体制の具体化を図っていきます。



中心市街地の活性化 空き家発生の未然防止

公明党秋田市議会
牧野（まきの） 守（まもる）

◇中心市街地の活性化◇空き家対策◇帯状疱疹ワクチン接種への助成…ほか

問 商店街は、地域の防犯やコミュニティーの形成などで重要な役割を担っていますが、中心市街地では、自動車でのアクセスの不便さなどにより存続の危機にあることから、維持・存続や活性化のための支援を拡充していくべきではありませんか。

答 本市では、これまで、商店街が行うイベント等に係る費用や公共性の高い施設の整備等に対する補助を実施してきました。特に中心市街地については、空き店舗への出店に際し、家賃補助の限度額を引き上げるなど手厚い支援を行っており、にぎわい創出に一定の効果をもたらしていると考えています。このほか、令和4年度からは、生産性向上や業態転換などに取り組む事業者に対する補助を実施しており、収益力強化やコスト削減を後押しすることで、商店街の維持や活性化の下支えをしています。今後も、広く要望の把握に努めながら、さらなる支援策の拡充について検討していきます。

問 相続人がいない空き家の発生を未然に防ぐため、秋田市権利擁護センターでの成年後見制度の利用促進について、さらに周知を図るべきではありませんか。

答 成年後見人のみの判断で空き家等となる不動産の処分を行うことはできませんが、本人の意向や生活状況などにより、同制度を利用して不動産の処分につなげることも可能です。そのため、本市では、同制度について市民向けセミナー等のさまざまな機会を通じて理解を図っているところであり、今後もさらなる周知に努めていきます。

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）およびホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

9月定例会の本会議は、9月4日、13日、14日、15日、28日、10月10日に開催予定です。

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目（PDF）⇒

本会議の録画映像 ⇒



民謡全国大会への支援
千秋公園の再整備

日本共産党
秋田市議会議員団
佐藤（さとう） 純子（じゅんこ）

◇友好・姉妹都市交流及び平和活動の促進◇物価高騰から市民生活を守り抜くために◇子育て支援◇マイナンバーカード◇千秋公園◇選挙◇秋田民謡

問 市内で開催される民謡の全国大会へ支援を行うべきではありませんか。

答 民謡の全国大会等には、周年事業など節目の開催時に文化振興助成金による支援を実施しているところです。全国大会への継続的な支援は、毎年開催されているほかの文化事業においても節目の開催時の支援としていることから、難しいものと考えています。



問 市民アンケート結果では、ハスの観賞用の桟橋やデッキの設置を求める声がわずかであるにもかかわらず、なぜ、大手門の堀遊歩道整備を優先して進めるのですか。また、同遊歩道整備は中止すべきではありませんか。

答 県外からの千秋公園利用者によるアンケート結果では、ハスの観賞用の桟橋やデッキ整備が上位となっているほか、新たにハスを観賞できる場を設けることで、親水空間の充実を図ることを目的に整備するものです。また、同遊歩道整備による回遊性の向上により、中心市街地のさらなる活性化に寄与するものと考えています。



遊歩道を整備予定の大手門の堀



奨学金返還助成制度の拡充
新県立体育館の整備

秋水会
渡辺（わたなべ） 正宏（まさひろ）

◇このたびの市議会議員選挙に対する市長の考え方◇組織・人事◇八橋運動公園の整備◇奨学金返還助成制度の拡充◇中心市街地の活性化◇公共施設

問 若者の市内定住や定着、移住促進策として、奨学金返還助成制度の対象範囲をさらに拡充する考えはありませんか。

答 本市ではこれまで、若者の地元定着や県外への転出抑制を図ってきたところです。コロナ禍を契機として、大学生の市内就職率の向上や、若い世代の移住者数も増加しているものの、依然、転出超過の状況が続いており、さらなる取り組みが必要であると認識しています。現在、国においては給付型奨学金の拡充検討がなされるとともに、県においても現行制度の拡充の考えが示されていることから、その動向を注視していきます。

問 新県立体育館の整備構想に対する本市の見解はどうですか。また、八橋運動公園の公園機能の維持について、どのように考えていますか。

答 新県立体育館の整備については、現体育館北東にある丘の周辺が建設候補地として検討されています。本市としては、同公園内の既存施設の建て替えであることや、公園内のスポーツ施設機能の維持・強化にもつながることから、基本的には肯定的にとらえていますが、市としての方針を確定させるためには、公園の狭あい化や既存施設・機能への影響などについて、引き続き、県市において協議が必要だと考えています。また、丘を含めた緑地帯などは、市民の憩いの場として親しまれており、重要な公園機能であると認識していることから、緑地などに配慮した整備を県に求めているところです。

■本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しています。傍聴されている方も映る場合がありますのであらかじめご了承ください。

また、議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。また、専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問



学校等でのいじめへの対応
いじめの繰り返し防止対策

フロンティア秋田
後藤（ごとう） 良（りょう）

◇小・中学校等におけるいじめへの対応◇デジタル地域通貨の導入◇ＡＩの活用◇新エネルギー社会の実現に向けた本市の取組◇市営住宅◇マイナンバーカード関連サービスに係る誤登録◇市民の健康増進・運動の習慣化に向けた取組◇市民への情報発信

問 **小・中学校等において、いじめの被害を受けたことにより、欠席が続いている児童生徒に対し、どのような対応を行っているのですか。**

答 各校においては、いじめを受けて不安を感じている子どもの気持ちに寄り添い、スクールカウンセラー等と連携して心のケアに努めるとともに、いじめた子どもへの指導や、周りの子どもたちへの働き掛けを行い、いじめられた子どもが安心して登校できる環境づくりに取り組んでいます。また、家庭訪問等を通して教育相談を行うなど、欠席している子ども一人一人の状況に応じた支援に努めているところです。

問 **いじめを行った児童生徒がいじめを繰り返す場合がありますが、そのような児童生徒への対応は十分なのですか。**

答 各校では、いじめを行った子どもがいじめを繰り返すことのないよう、いじめは決して許されない行為であることを指導するとともに、複数の教員による継続した見守りを行っています。その際、保護者と連携し、いじめを行った子どもの内面に抱える不安や不満、ストレスなどを受け止め、自らの行為を心から反省することを通して、心の成長を促す機会となるよう努めているところです。





大森山動物園の運営
新スタジアム等の事業主体

自民党
伊藤（いとう） 巧一（こういち）

◇外旭川地区まちづくり◇大森山動物園の運営◇秋田市ふるさと名所百景◇感染症対策◇防災等◇地域の諸課題

問 **休耕田を活用して、動物の餌となる作物を栽培するプロジェクトを立ち上げてはどうですか。**

答 現在、大森山動物園では、ゾウなど草食動物の排せつ物から作った「ゾウさん堆肥（たいひ）」を活用し、地域の小学校等と連携した飼料作物の共同栽培を行っており、循環型資源の活用について学ぶ体験の場にもなっています。今後は、このような取り組みのＰＲを通じ、賛同してくれる農家や関係団体等との連携を検討していきます。



ゾウの餌やり体験の様子
（大森山動物園）

問 **外旭川地区まちづくりについて、新スタジアムや民間施設の事業主体を令和５年10月までに決めるとのことですが、現在の状況はどうですか。**

答 新スタジアムについては、民設民営方式での整備に向け、事業主体の中心となるブラウブリッツ秋田が、特別目的会社の構成などについて検討を進めているところであり、引き続き、県と共に協議を重ねることとしています。また、民間施設については、事業パートナーであるイオンタウン株式会社が、プロポーザル提案時の協力企業を中心に現在調整を進めており、５年度の外旭川地区まちづくり基本計画を策定する過程において、新スタジアムと民間施設それぞれの事業主体を可能な限り示していきたいと考えています。

議会の動き

５月22日　全員協議会
23日　５月臨時会
（５月24日まで）
６月５日　議会運営委員会
６月８日　６月定例会
（７月３日まで）
７月14日　編集委員会
20日　編集委員会
７月28日　各派会長会議
31日　全員協議会
８月10日　議会運営委員会

新しい常任委員等を紹介します

予算決算委員会　◎工　藤　新　一（フ秋）　○飯牟礼　克　年（自民）ほか議長を除く全議員

総務委員会

◎荻　原　貴　幸（秋水）　○工　藤　潤　平（自民）
見　上　万里子（秋水）　工　藤　新　一（フ秋）
藤　田　　信（フ秋）　小野寺　　誠（自民）
武　田　正　子（公明）　小　松　　健（そ維）
安　井　誠　悦（市ク）

厚生委員会

◎牧　野　　守（公明）　○後　藤　　良（フ秋）
小木田　喜美雄（秋水）　川　口　雅　丈（秋水）
倉　田　芳　浩（フ秋）　安　井　正　浩（自民）
飯牟礼　克　年（自民）　菊　地　格　夫（そ維）
佐　藤　純　子（共産）

教育産業委員会

◎船　木　　純（フ秋）　○若　松　尚　利（そ維）
渡　辺　正　宏（秋水）　細　川　信　二（秋水）
藤　枝　隆　博（フ秋）　伊　藤　巧　一（自民）
佐　藤　佳　人（公明）　奈　良　順　子（共産）

建設委員会

◎工　藤　知　彦（自民）　○藤　井　　翼（そ維）
伊　藤　一　榮（秋水）　佐　藤　宏　悦（秋水）
小　林　一　夫（フ秋）　佐　藤　哲　治（フ秋）
熊　谷　重　隆（自民）　石　塚　秀　博（公明）
花　田　清　美（市ク）

議会運営委員会

◎安　井　正　浩（自民）　○菊　地　格　夫（そ維）
渡　辺　正　宏（秋水）　伊　藤　一　榮（秋水）
細　川　信　二（秋水）　工　藤　新　一（フ秋）
後　藤　　良（フ秋）　伊　藤　巧　一（自民）
牧　野　　守（公明）

◎は委員長、○は副委員長、（　）は会派名で、（秋水）は秋水会、（フ秋）はフロンティア秋田、（自民）は自民党、（公明）は公明党秋田市議会、（そ維）はそうせいと維新、（共産）は日本共産党秋田市議会議員団、（市ク）は市民クラブ

6月定例会予算決算委員会各分科会の審査から

総務分科会

総務部、企画財政部、デジタル化推進本部、会計課、消防本部などの所管事項

委員　未来創造人材育成・映像プロモーション事業について、事業費の内訳はどうですか。また、映画制作を通じて、本市の未来を担う若者の人材育成や関係人口の創出につなげることなどを目的としていますが、作品完成後の展開をどのように考えていますか。

企画財政部　同事業費の内訳は、映像制作に係る経費、市内の大学生等が参加するワークショップの開催に係る経費および上映イベントの開催に係る経費等として4千500万円、市内の若者等を中心とした実行委員会が事業を進めるための経費として44万8千円です。また、完成した作品は、活動を記録したドキュメンタリー映像も含めて全国上映等を行うほか、制作にかかわった若者が、活動後も自主性を持って本市の魅力を見つめ直し、誇りや愛着をさらにはぐくんでいけるようなサポートも行っていきたいと考えています。

建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員　総合環境センター計量装置改修事業について、主要機器を改修しようとする理由は何ですか。

環境部　同センターの計量装置は、令和4年6月および5年4月に老朽化による不具合が発生し、応急修繕を実施しましたが、5年4月の応急修繕の際に行った点検において、想定を上回る機器の腐食や装置全体のゆがみが見つかり、さらに老朽化が進んだ場合には、再度、不具合が発生し、ごみの受け入れが困難となる可能性があることから、安定的な受け入れ体制確保のため、主要機器を改修しようとするものです。



計量装置を設置している
総合環境センター出入り口

〒010－8560 秋田市山王一丁目1番1号 秋田市議会事務局
電話018（888）5784 ファクス018（888）5783

この冊子は全戸配布しています。

政務活動費の使い道を公開しています

政務活動費は、市議会議員が市政に役立つ調査研究をするために必要な経費の一部として、市から市議会の会派に交付されています。金額は、議員一人につき月額10万円で、年度ごとに精算し、残余金がある場合は市に返還されます。

政務活動費収支報告書と領収書等の写しは、平成29年度の分は閲覧で、平成30年度から令和４年度までの分は閲覧およびインターネットで公開しています。

詳しくは、議会事務局総務課（電話 018-888-5782）までお問い合わせください。

ホームページでも公開していますので、ＱＲコードからご覧ください。⇒

令和４年度分　政務活動費科目別収支状況

（金額単位：円）

科目		秋水会	フロンティア秋田	市民クラブ	公明党秋田市議会	日本共産党秋田市議会議員団	そうせい	合計
所属議員数		15人	６人	５人	４人	４人	２人	36人
収入	交付額	18,000,000	7,200,000	6,000,000	4,800,000	4,800,000	2,400,000	43,200,000
	預金利子	71	0	23	1	15	10	120
	会派繰入金	0	0	0	0	0	0	0
	収入合計	18,000,071	7,200,000	6,000,023	4,800,001	4,800,015	2,400,010	43,200,120
支出	研究研修費	2,380,960	123,370	30,000	113,380	81,353	0	2,729,063
	調査活動費	1,760,982	1,095,581	287,000	757,722	0	0	3,901,285
	資料作成費	2,032,469	443,254	1,246,759	408,818	409,210	372,678	4,913,188
	資料購入費	751,839	348,631	291,819	54,480	245,722	245,838	1,938,329
	広報費	5,743,850	4,353,305	1,912,254	0	1,709,017	1,388,418	15,106,844
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	686,385	29,000	0	0	149,850	0	865,235
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0
	事務費	1,037,395	701,760	433,174	364,259	53,930	49,411	2,639,929
	支出合計	14,393,880	7,094,901	4,201,006	1,698,659	2,649,082	2,056,345	32,093,873
残余金		3,606,191	105,099	1,799,017	3,101,342	2,150,933	343,665	11,106,247

９月定例会のお知らせ（予定）

日程

９月４日	本会議
13日～15日	本会議「一般質問」
19日	常任委員会
20日～22日	常任委員会・分科会
26日	常任委員会
28日	本会議・常任委員会
29日～10月３日	分科会（土日除く）
10月５日	常任委員会
10日	本会議

一般質問予定者

見上万里子、佐藤宏悦（秋水会）

藤枝隆博、工藤新一（フロンティア秋田）

飯牟礼克年、工藤潤平（自民党）

石塚秀博（公明党秋田市議会）

若松尚利（そうせいと維新）

安井誠悦（市民クラブ）

次回のあきた市議会だよりは
令和5年11月17日
発行予定です。



※秋田市議会では、本会議、常任委員会・分科会などの傍聴ができます。
日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

新しい編集委員です



委員長　船木純人
副委員長　佐藤佳榮
伊藤一年
飯牟礼克利
若松尚

市議会議員選挙後、編集委員も新たな顔ぶれになりました。

市民の皆さまに分かりやすく、親しみやすい議会だよりとなるよう努めてまいります。ご意見・ご感想がありましたらお寄せください。

（編集委員一同）

発行／秋田市議会　編集／あきた市議会だより編集委員会
［ホームページ］ https://www.city.akita.lg.jp/shigikai/index.html　右のQRコードを読み取ると、過去のあきた市議会だよりもご覧になれます。